

令和5年3月6日

市民のみなさんへ

庄原市総領支所

行政文書の発行について

3月6日付けの行政文書を次のとおり発行します。

★ 回覧文書

表 題	備 考	担 当 課 等
令和5年度 庄原市がんばる農業支援事業のご案内	表面	企画振興部 農業振興課
令和4年度 障害者理解促進・啓発映画上映会	裏面	生活福祉部 社会福祉課
環境しょうばら		環境建設部 環境政策課
令和4年度けんみん文化祭備北地区フェスティバル庄原大会のご案内		教育部 生涯学習課
田園文化センターだより		田園文化センター
学校だより		総領中学校
校長便り		

★ 各戸配布

表 題	備 考	担 当 課 等
広報しょうばら3月号		総務部 行政管理課

<行政文書のお問い合わせ先>

〒729-3703

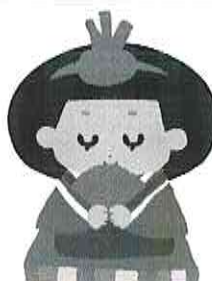
庄原市総領町下領家280番地1

庄原市総領支所総務室

電話番号 : 0824-88-2111

FAX番号 : 0824-88-2978

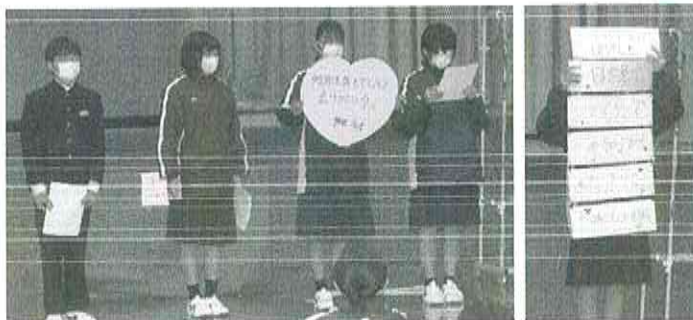
メールアドレス : soumu-sou@city.shobara.lg.jp



生徒会活動

主体的に取り組んでいます

活発な学校に！等の公約を掲げてスタートした新執行部が、スローガン「勇功邁進」を発表して1か月。意欲的に生徒会活動に取り組む姿が見られます。12月に行った生徒アンケートでは「意欲的に生徒会活動(学級活動)に取り組んでいます」と答えた生徒は85%でした。今後のさらなる活発な活動が期待されます



執行部 2月16日(木)の生徒朝会では、みんなが気持ちよく学校生活を送ることができるように、寸劇を交えて総領中学校LEVEL5『目を見て・おじぎして・元気な声で・自分から・その場に応じた挨拶』を確認しました。また、『届けよう！幸せの花』の取組も、みんなのメッセージを紹介するなど、取組をさらにすすめていきたいと伝えていました。

学級委員会 卒業証書授与式の会場を華やかにして、卒業生を送ろうと、パンジーの花植えをしました。今は、生徒玄関で咲き揃い、お客様を迎えています。寒い中の作業でしたが、おしゃべりにも花を咲かせながらがんばりました。

学習委員会 図書室の移転に伴って、本の箱詰めや移動、書架の移動、掃除や本の手入れ等を行っています。先日は、1・2年生で書架の移動をしました。学習委員は、自覚を持ち、時間を見つけては司書の先生の手伝いを進んでしてくれています。

生活委員会 毎日の給食時間に、明るく元気な声で給食放送をしています。ごみの日には、たくさんのごみを協力して運んだり、委員会がない日でもごみ袋づくりをしてくれる姿もあります。



重点講座に取り組みました ～一次選抜に向けて～

2月27日(月)・28日(火)に公立高校一次選抜が行われます。新しい入試制度になり、5教科の試験等を1日で行うとともに、学力検査の比重が大きくなりました。2月第2・3週の放課後には、入試に向けた5教科の重点講座を行い、3年生も入試に向けて勉強を頑張っています。

3月の主な行事予定 ※変更になる場合があります

- 1日(水)～3日(金) <1・2年>学年末試験
- 2日(木) 校内研修日, 【5時間授業】
- 3日(金) スクールカウンセラー勤務
- 7日(火) 卒業証書授与式リハーサル・準備, <3年>13:30下校, <1・2年>15:00下校
- 8日(水) 卒業証書授与式, 給食なし, 11:35下校
- 14日(火) 授業参観, 学級懇談会・修学旅行説明会
- 15日(水) 生徒会委員会
- 17日(金)・20日(月) ワックスがけ作業
- 17日(金) 公立高等学校二次選抜
- 23日(木) 校内研修日, 【5時間授業】
- 24日(金) 修了式, 離任式, 【4時間授業】13:50下校

気付き・ご意見・お問い合わせ等、ご遠慮なく学校までお届けください

◆総領中学校
体罰・ハラスメント相談日(毎月第3火曜日)
体罰・ハラスメント相談窓口の担当者
教頭 柳原 里美(女性)
教諭 田中 宏明(男性)

連絡先 庄原市立総領中学校
庄原市総領町稲草 2125
電話 (0824) 88-2035
FAX (0824) 88-2831



あなたは誰かにとって

ミュージシャン、ザ・ブルーハーツの甲本ヒロトさんいわく、、、

学校に自分の居場所なんてないっていうけど、誰にだって居場所はあるよ。席があるじゃん。そこに黙って座ってりゃいいんだよ。友だちなんて、元々いなくて当たり前なんだから。友だちじゃねえよ、クラスメイトなんて。たまたま同じ年に生まれた近所の奴が同じ部屋に集められただけじゃん。趣味も違うのに友だちになれるわけないじゃん。電車に乗ってて、『はい、この車両全員仲よく友だちね』って言われても、『いや、偶然一緒に乗ってるだけなんですけど』って…。友だちじゃねえよ。ただ、友だちじゃないけどさ、喧嘩せず自分が降りる駅まで平和に乗ってられなきゃダメじゃない？その訓練じゃないか、学校は。友だちでもない仲よしでもない好きでもない連中と喧嘩しないで平穏に暮らす練習をするのが学校じゃないか。だからいいよ、友だちなんかなくても。

また、ある有名人はテレビの番組で、こんなことを言っていました。

『俺は友だちなんていなくていい。いなくても全然やっていける。大事なのは何を友だちと言うかだ。パーッと騒いで、おしゃべりするぐらいを友だちと言うのなら、俺にも友だちは数えきれないくらいいる。』

少し乱暴に聞こえますが、あなたが友だちだと言っている人は、単なる『顔見知り』なんじゃないのか？という、問いかけだったのです。

安っぽい友情に頼っていると、ちょっとした行き違いでも裏切りに思えてしまう。

楽しそうに見えても、別に強い絆で結ばれているわけじゃない。

「友だちなんていなくていい」と語った有名人とは、テレビタレントのタモリさん。

この言葉は、「気持ちの通う存在こそが友人で、そんな存在を誰かに求めるより、自分が誰かにとって気持ちの通う存在になれるかどうかの方が大切なんだ」と結ばれました。

我に返って、、、中学3年の時、クラスに35人はいた。4月のクラス替えの発表の時、名簿を見て友だちと呼べる子はいなかった。クラスでポツンと一人でいるのは、実際それはそれで当時は死活問題だった。甲本さんやタモリさんが先生だったら、正直スコシラクダッタカモ。

当時の先生、「みんな仲良くしましょう」とか「ひとりぼっちの子をつくらない」とか声を大にして言うものだから、そういうつもりはなくても「一人はシンドイヨネ」ってことになる。

無理して友だちを作ろうとしなかったけど、大切だと気付いたのは、人との適度な距離感と節度ある対応。

今振り返って思うのは、友だちって作るものではなく、できるもの。そして、それは夢を追う自分磨きの中でできたかな。

それでも、偶然の車両は、時間の経過とふれあいの中で友情車両に変わることもあった。

あなたは、誰かにとってどんな存在になれるかな……。またひとつ、心も体も成長する令和5年度はもうすぐそこに。